

Vol. VIII, Pt. 2, 1957

蝶と蛾 *TYÔ TO GA*

(Transactions of the Lepidopterological Society of Japan)

台湾より未記録のマダラチョウについて

村山修一¹⁾

An unrecorded *Danaus* species from Formosa

By SHU-ITI MURAYAMA

最近台湾の陳維寿氏から、台湾各地（北投・埔里・恒春・紅頭嶼など）で、スデグロカバマダラの白化型がとれ出したとの報をうけたが、同時にこの型は日本の森・吉田両氏始め数氏の注文に応じて数頭送附され来り、私もその1を惠送された。ついてみると、異常型に非ず、南方からしられた *Danaus lotis* 種に他ならぬことを発見したので、爰に台湾産未記録種として公表し、併せて陳氏の御功績を披露することとしたのである。

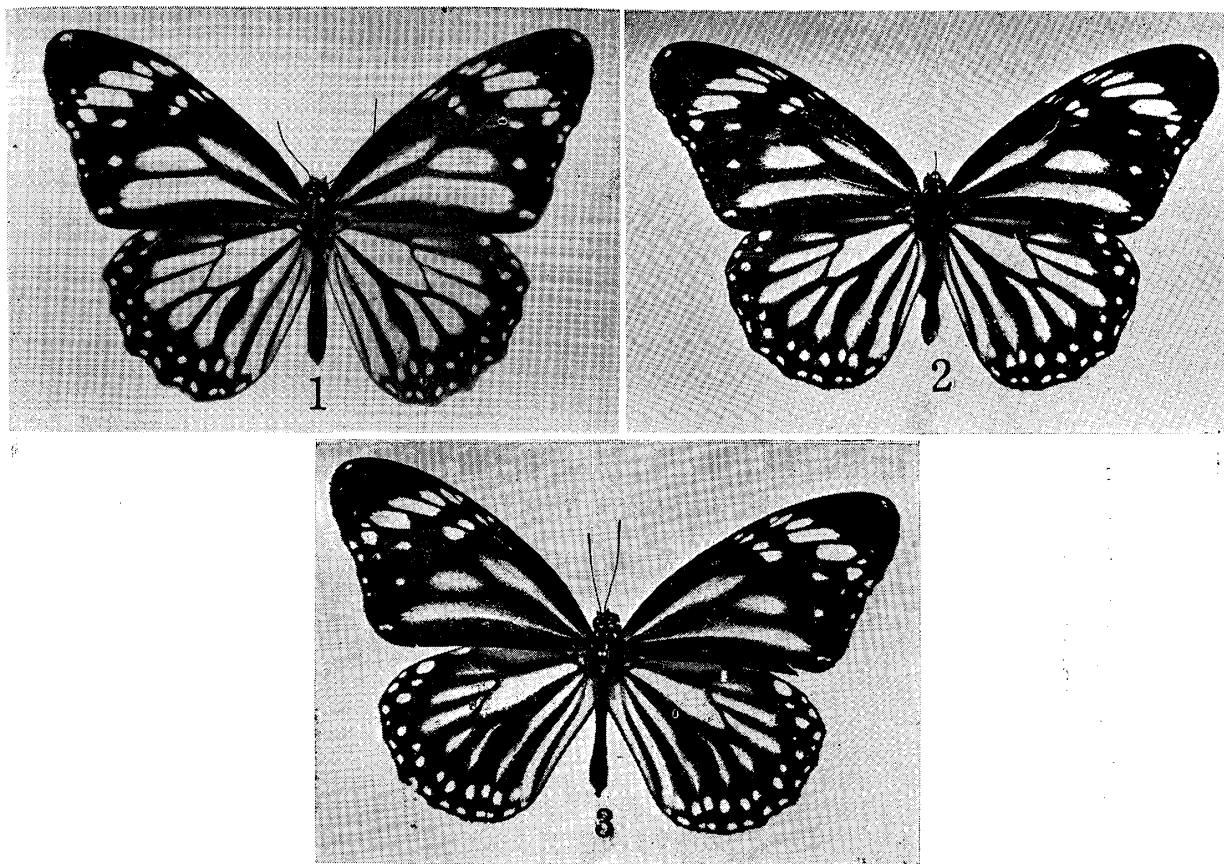


Fig. 1. *Danaus lotis edmondi* BOUG. (Formosa).

Fig. 2. *Danaus lotis philozigetes* FRUHSTORFER (Philippines).

Fig. 3. *Danaus lotis lotis* CRAMER (Borneo).

1) 大阪府茨木市新庄町744

原種 *lotis* CRAMER は Borneo に産し, Philippines, Celebes, Natuna 等の各地に産するものはそれぞれ亜種を異にするが, Philippines には北部 Luzon 地方に *edmondi* BOUG, 南部 Sarangani, Mindanao に *philozigetes* FRUHSTORFER の 2 亜種を産し, 台湾のものは前者 *edmondi* によく一致する. 将來多数の標本を研究する時がくれば, あるいは新亜種になるかもしれないが, 変化の多い本種のこと故, *edmondi* とするのが最も妥当であり, 且地理的分布からしても自然であると思われる. 和名は不要であるが, われわれに親しみ多い台湾の蝶であるため便宜つけてみた. (Fig. 1 の写真は森氏, Fig. 2-3 は私の撮ったものであるが, *edmondi* は殆んど台湾のと変りがないので写真は割愛した。)

Danaus lotis edmondi BOUG スヂグロシロマダラ (新称)

1♂, 日月潭 (台中州), 22. VII. 1956, 前翅長 42mm. 陳氏採集 筆者所蔵

1♂ (Fig. 1), 埔里 (台中州), 21. VII. 1956, 前翅長 44mm. 陳氏採集 森石雄氏所蔵

Edmondi 以外の近似の亜種との区別は次の通りである. 亜種 *philozigetes* (Fig. 2) に極めて似るが, 翅表の白斑は全体に一層よく発達し, 白斑相互を界する翅脈の黒帯 (殊に前翅第 2, 後翅第 2, 3, 4 脉の黒帯) は細く, 従って前翅第 1b, 第 2 の各室, 後翅第 1b, 2, 3, 4, 5 の各室の白斑は大きい. 原種 *lotis* (Fig. 3) は地色稍々薄く褐色味加わり, 暗化の度強くして各室の白斑は遙かに小さい. 但し面白いことに, 後翅外縁及び亜外縁の白紋は逆に顕著となる傾向を示す. 台湾, Philippines のものより一般に稍々小形のようである. (私の手許にあるものによると *lotis lotis* 1♂ 40mm., 1♂ 40mm., 1♀ 42mm., *lotis philozigetes* 1♂ 43mm., 1♀ 38mm., 1♀ 43mm., *lotis edmondi* 1♂ 38mm.)

因にスヂグロカバマダラに似て地色が部分的に白くなったり赤褐色になったり種々変化するものが別にある. 之は *Danaus affinis* といって Australia 北部から Java, Philippines の間に広く分布し多数の地方型に分かれている. 終りに写真其他で援助された森石雄氏, 吉田真日出氏, 文献調査に便宜を与えられた京都大学教授内田俊郎博士に御礼申し上げる.

Resumé

Hitherto, *Danaus lotis* has not been known from Formosa, but recently some specimens were caught there by Mr. W. CHUNG, and as a result of my research, it became clear that the Formosan *lotis* agrees with the northern Philippines race *edmondi*.

The Formosan *lotis* differs from the typical race *lotis* (Fig. 3) from Borneo in being more blackish brown on upperside of both wings. White markings except for submarginal as well as marginal ones on hindwing, more developed. Size somewhat larger. Very much allied to subsp. *philozigetes* FRUHS-TORFER (Fig. 2) from Philippines, but white markings somewhat developed, especially 1b and 2 interspaces of forewing, also 1b, 2, 3, 4, and 5 interspaces of hindwing distinctly larger.

Examined specimens; 1♂ Jitsugetsutan, Central Formosa, 22. VII. 1956, Expanse of forewing, 42mm., in author's collection. 1♂ (Fig. 1) Hori, Central Formosa, 21. VII. 1956, Expanse of forewing, 44mm., in Mr. MORI's collection.

Vol. VI, Pt. 1 所載 “村山： New or Little Known Rhopalocera from China and Korea ” の正誤表。

- 1) *E. romanovi shanshiensis* の項 5 行目, Holotype の次に♂, 及び Paratype ♂を挿入.
- 2) 写真説明中, Fig. 3., *E. maturna mongolica* SUGITANI は命名者 STAUDINGER の誤り.
- 3) *Tajuria illurgis tattaka* ARAKI について, 其後本亜種はさらに 3 頭採集され森石雄氏の許に送られてきた. 之は森氏の御好意により, 同氏, 布藤氏及び私が分有するが採集地及び日付は, 2♂ ♂, 阿里山, 20.VII.1954, 1♂, 八仙山, 11.VIII. 1950. となっている, 之によって本亜種の採集期間は少くとも 6 月より 8 月に及びことがしられる.
- 4) *A. matudai* の項, 下から 4 行目 accoding は according の誤り, Allotype は ♀ である.